



一隅を照らそう
3月号

314号
毎月28日発行

E-mail:info@tougakuin.jp



ラツパ水仙

お経と不動明王の話

住職 中島 有淳

その昔、お釈迦さまがインドのブッダガヤの菩提樹下において魔王の妨害を寄せつけず退けて、お悟りを開かれました。このことは「降魔成道」として説話などでよく知られています。仏教は煩惱（恶心）から悟り（善心）に向かう教えです。それ故、こうした誘惑に打ち勝ち、大慈悲の心と共に成道することが求められます。

そうした仏教經典は、お釈迦さまの教えを後の弟子達が、まとめたものです。有名な『般若心經』『華嚴經』『法華經』といった大乗經典は、お釈迦さまの滅後、数百年も経て成立し、更に密教經典はそれ以降、仏教徒が教える核心と信じて記され、発展してきたものです。

仏教が中国に伝播し「中国撰述經典」として、教えが日本に渡来し「日本撰述經典」としても多くの經典が作成されました。こうして仏教は人々の信仰の基盤となってきたのです。これらは直接お釈迦さまの真説ではないという意味で「偽經」とも呼ばれることがあります。それも仏さまの教えとして大切に現代まで人々に流布され、親しまれ発展してきました。

冒頭に記した“成道”に向かうには、強い意志が求められます。そうした中で大日如來の化身ともいわれる不動明王は、觀音菩薩、地藏菩薩らとならんで、日本で最も信仰されている仏さまの一人です。怒りを表すそのお顔は恐ろしく、優しい面相の多い他の仏さまと異なります。背後に火焔が燃え盛り、その姿に恐ろしさが増幅します。

日本で発展した、不動明王の功徳を説く『聖無動尊秘密陀羅尼經』の中に、明王の四弘願があります。

〔見聞我心者 即身成佛〕
〔聴我說者 得大智慧〕
〔發菩提心 知我名者 斷惡修善〕
〔即身成佛〕

（我が身を見る者は菩提心を発し、我が名を聞く者は悪を断じ善を修し、我が説くことを聞く者は大智慧を得、我が心を知る者は即身成佛せん）

とあります。

不動明王は常に私たちの側にいて、衆生を捨ておけないという、限りない大慈悲心を秘められています。それ故、気づきの悪い私達に歯をむき出し、怒った顔をし、煩惱を縄でしばり、剣でたち切ろうとしているお姿なのです。

余談ですが、もう三十年位前、都内某處で不動明王を祀る名刹の住職が遷化されました。氣性の激しかった大僧正は、ご自分の戒名を生前に「破邪光院」とつけられたものです。本葬儀の日は台風の風雨で、大荒れでした……。

本堂前

松の木の根元に
ラツパ水仙が咲き出しました

黄色くてとてもキュートです

日も少しづつ長くなり
光も力が増してきて
いよいよ温かい春の訪れです（遊）

1月例行事案内	
◎八日	午後二時
薬師如来祈祷会	觀音經讀誦
◎十二日	午後二時
智泉院法要日（於・日本橋茅場町）	
◎十八日	午後二時
觀音經讀誦法要（於・神木觀音堂）	
◎二十八日	午後二時
不動明王護摩供修行	

*毎朝六時より公開で朝のお勤めをしております
ご都合のよろしい時にはご一緒にどうぞ

どなたさまでも
ご参詣下さい

月例 止観（坐禪）会…3月21日（土）
10:00～11:00（要申込・500円）



折りふしのはな



○最近、目がかゆく鼻水が……花粉症。これも厄介なことです。